

令和4年度かわさき教師塾

☆『明日の先生日記』☆

子どもの笑顔が
あふれるまち
かわさき



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市



10月22日(土) 子ども一人ひとりを理解し、一人ひとりを生かすという児童生徒理解の基本的な考え方、子どもの居場所となる学級づくりや経営についての講義と演習が行われました。

令和4年10月22日(土) 日程

- 10:00 児童生徒理解
ー子どもとの関わり方・向き合い方ー
- 11:10 学級経営のポイント
- 12:00 ~昼食・休憩~
- 13:00 子ども理解と集団作り
- 14:45 振り返り・事務連絡 15:00 終了

まじめに頑張ること
とは良いことだ!



説明している仲間に「チャイムの音に負けるな!」と授業が終わっても励ます声掛けから、とてもクラスの雰囲気的重要さを感じた。

意識

当たり前を見過ごさず評価することの大切さを意識していたからか、「頑張っている生徒を正当に評価する」という言葉が最も印象に残った。

自尊心と自己有用感

- ・よいところを「褒める」で自尊心を高める
- ・他者との関わりの中で、「認められた」と実感して自己有用感が高まる



自己有用感から自尊心へ



小学校の頃、先生からお願いされ、「ありがとう」と言ってもらえた時、とても嬉しかったことを覚えています。1人ひとりと向き合い、個別の関わりを大切にしていきたい。

魅力ある学校づくり

集団づくりを学校全体で

- ・一人ひとりの声に耳を傾け、状況や変化を把握し、内面を敏感に感じ取る姿勢

1対35と1対1

保護者の信頼関係



一人が残って班での意見を説明し、他の班員は他の班の意見を聞きに行くという活動方法を知り、グループワークに活用できると思った。

児童の良いところを見つけ、褒めること、正しいことは正しい、間違っていることはしっかりと間違っていると伝えるようにしたい。

失敗しても自分を必要としていると感じられるクラス

「絆づくり」と「居場所づくり」

絆づくりのカギは「自主的な活動」

児童生徒	が絆をつくる!
教職員	が居場所をつくる!

小学生の時に大好きだったクラスは、先生が1対1で本気で向き合ってくれ、居場所があると感じるクラスだった。

受講生の皆さんは、話をしている人に必ず向いていて、自分が話している時、すべて肯定しながら聞いてくれるので、気持ちが良いし、もっと話そうという気持ちになった。これが自信になり、自己肯定感につながった。



消しカス ご自由に入れてね



児童生徒一人一人が存在感を感じ、安心して自分の力を発揮できる学級に

相手の身になって考えられる学級

自分の力を学級全体のために役立てようとする学級

相手のよさを見つけようとする学級

互いに協力し合う学級

支持的な学級風土を!

「ワールドカフェ」…ミツバチ役が蜜(情報)を持ち帰ってくる



いつでも相談タイム! どのようなことでも…ご遠慮なく…
昼休みや回終了後だけでなく、また開催日に限らず、「どんなことでも…ご遠慮なく…」教師塾担当の誰でも構いません。安心してお声掛け、ご相談ください。

令和5年1月21日(土) 17時~19時
かわさき宙と緑の科学館において「教員志望者向け説明会」が実施されます。Webサイトからのエントリーによる事前予約制となります。

